

2004 春日井市民第九演奏会



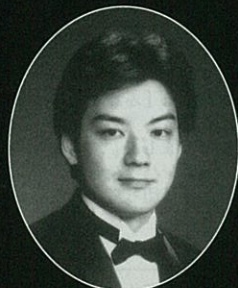
指揮
ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ



ソプラノ
百々あずさ



アルト
野上 貴子



テノール
川野名康夫



バス
ロビン・アダムズ

とき **2004年12月5日** (日) 午後3時開演
午後2時開場

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000円** [全自由席] (消費税込)

指揮 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ
ソプラノ 百々あずさ テノール 川野名康夫
アルト 野上 貴子 バス ロビン・アダムズ
管弦楽 春日井市交響楽団 合奏指導 加藤完二
合唱 春日井第九合唱団 合唱指導 吉川 朗
曲 目 ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

■ チケット取扱い場所(発売日10/5(火)より) ■
春日井市民会館・文化フォーラム春日井2F文化情報プラザ・春日井市役所2F情報コーナー・春日井市内各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)・坂下公民館・清水屋案内所・サンマルシェ案内所・ルネック7F管理事務所

主催/春日井市・(財)かすがい市民文化財団・春日井市教育委員会
2004春日井市民第九演奏会実行委員会
共催/春日井市交響楽団・春日井第九合唱団
後援/中部大学・中日新聞社

お問い合わせ先

2004春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111
文化フォーラム春日井・文芸館 ☎0568-85-6868

指揮者 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ Jochem Hochstenbach

指揮者でピアニスト。1970年オランダのティバークに生まれました。1984年からユトレヒトの音楽院でピアノを学び多くの賞を得て卒業。1992年スペインやドイツやチェコのマスタークラスで学ぶ。1994年からウィーンの学生オーケストラの指揮をする。オーストリア、イタリア、日

本、フィンランド、エストニア、ハンガリーなどで演奏会を開く。1997年ウィーン音楽院をディプロマを得て修了。1997年よりリンツの州立歌劇場でコレペティートルを務める。1999年に同劇場の音楽監督に昇格。以来、《フィガロの結婚》など120の歌劇作品を上演。

ソプラノ 百々あずさ

Azusa Dodo

愛知県生まれ。私立滝高等学校普通科を経て、国立音楽大学音楽学部声楽学科入学。同大学卒業後、98年度イタリア政府給費留学生として、渡伊、トリノのジュゼッペ・ヴェルディ国立音楽院声楽学科卒業。国内では、白鳥センチュリーホールにて、ベートーヴェンの「第九」（松尾葉子指揮、セントラル愛知交響楽団）にソリストとしてデビュー、イタリア・ドイツでは、オペラ「ダイドとイネアス」（パーセル作曲）、「ドン・ジョヴァンニ」（モーツァルト作曲）、「ジャンニ・スキッキ」、「ラ・ボエーム」（ブッチーニ作曲）等に出演、また、ヴィヴァルディの「グロ

ーリア」（オルヴィエート国際音楽祭）、フォーレのレクイエム（豊田市合唱団）のソリストを務めたりと、宗教音楽にも活動的。第51回全日本学生音楽コンクール名古屋大会声楽部門大学・一般の部第1位、第9回リッカルド・ザンドナイ国際音楽コンクール特別賞受賞、第21回サンタ・マルゲリータ市国際声楽コンクール第2位、第2回カカロス・ゴメス国際オペラコンクール入選。現在、ジェノヴァ在住。

アルト 野上 貴子

Takako Nogami

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。宝塚バガコンクール声楽部門第2位。摂津音楽祭銅賞。飯塚新人音楽コンクール声楽部門第3位。オペラ「ラ・ジョコンダ」チェカ、「こうもり」オルロフスキーで出演。「99KACC（神戸芸術文化会議）コンサート」「KOBEフレッシュコンサート」等に出演。また、第九、モーツァルト、プーランク、サン＝サーン

ス、ベルゴレージのミサ曲のソリストを務める等、各種演奏会に出演する他、多数のオペラ公演にも出演。故岡岡隆正、井上敏典、安藝榮子の各氏に師事。現在、神戸市混声合唱団、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団、各団所属。

テノール 川野名康夫

Yasuo Kawanona

1972年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、イタリア ジェノヴァのニコロ・パガニーニ国立音楽院にて学ぶ。ジェノバ（イタリア）・スイスにて、ロッシニ作曲「Petite Messa Solennelle（荘厳小ミサ曲）」のテノールソロとして、出演。南イタリア・フォッジャのジオルダノ・フェスティバルにて、「Andrea Shenier」に出演。サンタ・マルゲリータ サマー・オペラ・フェスティバルの「愛の妙薬」（ドニゼッティ作曲）で、主人公ネモリーノ役で出演。2003年11月Savona、Imperia、La Speziaの各劇場で「蝶々夫人」のGoro

を歌い、その歌唱力・演技力で絶賛を受け、2004年にはSavonaのシーズンで「椿姫」のアルフレッドを歌うことになっている。その他、イタリアにおいて「蝶々夫人」「トスカ」などのオペラ、各種コンサートに出演し、好評を博す。櫻井直樹氏、勝部太氏、故足田生次郎氏、ジャンニ・ライモンディ氏、カルメン・ヴィラルタ女史、ジャンフランコ・パスティネ氏に師事。フレーベル少年合唱団指導者。現在、イタリア在住。

バス ロビン・アダムズ

Robin Adams

イギリス生まれのバリトン歌手。王立スコットランド音楽演劇大学で学ぶ。多くの奨学金と賞を得て卒業。オペラ歌手としてのアダムズは、バロック・オペラから現代オペラまで幅広いレパートリーをもっている。大学時代の1993年にミヨーの「オルフェウスの不幸」のオルフェウスを、1994年にギルバート＝サリヴァンの喜劇「戦艦ピナフォア」の艦長を歌うなど、すでに高い評価を受けていた。1995年の日本ツアーでも、能の「隅田川」

を題材としたベンジャミン・ブリテンの歌劇「カーリユリヴァー」の渡し守を歌い好評であった。これまでに、多くの歌劇の主役を歌い、現在、国際的に最も活躍中のバリトンの一人である。また、コンサートでも、「メサイア」「マタイ受難曲」（バッハ）「カルミナ・ブラーナ」「ドイツ・レクイエム」（ブラームス）「嘆きの歌」（マラー）などを歌う。

管弦楽 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という市民の長年の希望から生まれました。「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称「カポ」（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにと

って、最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においでいただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。「春日井音楽文化の窓」として、優れた演奏家を定演に招くことも市民オーケの使命と考えています。今年はウィーンフィルのコンサートマスター、ライナー・キューヒルさんを、来年はヴァイオリニストの前橋汀子さんにおねがいしました。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。

（団長・花村浩克）

合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年は、市民の手によるベートーヴェンの「第九演奏会」の春日井初演によって盛大に祝われました。この演奏会を記念して作られたのが、「春日井第九合唱団」です。以後、毎年12月には、新しく募集した市民も加わって、220名を越すメンバーが常に新鮮なベートーヴェンの「第九交響曲」を歌い継いできています。創立以来、ベテランの吉川朗先生をはじめ、多くの優れた音楽家のご指導で、技術的にも、音楽的にも、完成度の高い「第九」演奏を心がけています。平成7年からは、年末の「第九」の本練習に入る前に、特別練習として数々の合唱作品に挑

戦しています。本年6月19日（土）には、文化フォーラム春日井の交流アトリウムにおいて「ベートーヴェンはランチもお好き？」の演奏会に、日本のうた「ふるさとの四季」で特別出演を致しました。また愛環音楽連盟にも加入して2005年愛知万博には「愛・地球の環音楽祭」に出演する事になりました。今年第12回になる「第九」はドイツのヨッヘム・ホッホシュテンバッハさんの指揮で、さらに美しいベルカントな演奏が出来るものと張り切っています。ご期待下さい。

（団長・山田伊素子）

〈さらに新鮮、さらに充実、ロビンとヨッヘムが参加する今年の「第九」〉

恒例の「春日井の第九」とはいえ、毎年、毎年、指揮者が変わり、ソリストが変わって、常に新鮮な「第九」を市民のみなさまにお届けしてきました。昨年は2年連続して同じソリストでしたが、指揮者に新しくヨッヘム・ホッホシュテンバッハさんをお招きして、またまた新鮮で、画期的な「春日井第九」となりました。合唱団も、これまでで最高の演奏をしました。特に、男声が張り切り切りました。優れた混声合唱団ならではの色彩感と倍音に富んだ豊かな響きが、満席の会場に響き渡りました。オーケストラも、いつになく落ち着いて、悠々迫らざる態度で、4楽章にわたって大きなスケールの「第九」を聴かせました。これも、指揮者のヨッヘムさんが、春日井の合唱団と春日井市交響楽団から、もてる能力以上のものを引き出すのに成功したからです。これほど、出演者も興奮し、聴衆も感激した「第九」は、これまでの春日井第九の歴史の中でも、初めてでした。それで、今年も、ヨッヘムさんをお招きしました。それに、今回は期待のバリトン、ロビン・アダムズさんの出演も実現します。ソプラノはベテランの百々あずささん、アルトは新人の野上貴子さん、テノールはベル・カントの川野名康夫さん。そして、春日井第九合唱団と春日井市交響楽団という盤石の態勢で臨みます。さらに新鮮で、さらに充実した、今年の「春日井市民第九演奏会」のみなさまおそろいで、ぜひお出かけ下さい。

春日井市民第九演奏会音楽監督 都築正道（中部大学教授）

※都合により出演者の変更がある場合があります。